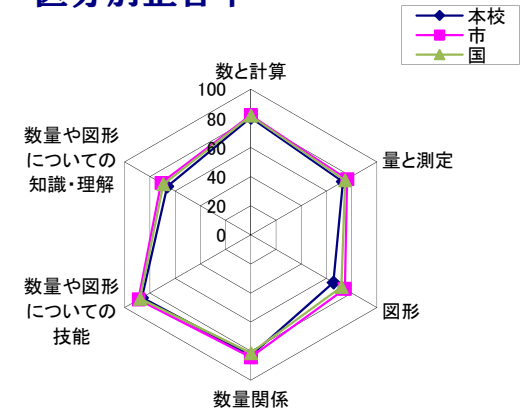


宇都宮市立上河内東小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

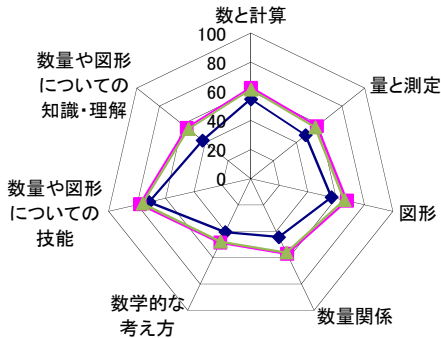
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	80.4	82.2	81.8
	量と測定	73.0	76.4	74.8
	図形	65.5	74.5	71.8
	数量関係	82.9	84.2	81.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	86.5	89.1	87.9
	数量や図形についての知識・理解	66.4	71.1	69.5



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	54.7	62.6	61.3
	量と測定	48.1	58.0	56.5
	図形	56.8	67.5	65.7
	数量関係	44.3	57.1	56.2
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	40.5	48.6	47.8
	数量や図形についての技能	71.6	78.1	76.2
	数量や図形についての知識・理解	42.3	56.3	54.8



★算数に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○ほとんどの設問において、肯定的回答の割合が全国平均を上回っている。本校児童が算数を好んでいたり、役に立つと思っていたりして、算数を肯定的に捉えていることが分かる。算数の授業で解き方や考え方をノートに書いていたり、もっと簡単に解く方法がないか考えたりするという回答率が高く、工夫しながら意欲的に学習する様子が伺える。

●「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。」の設問の回答率は、全国平均よりは高いが、他の設問より比較的低くなっている。B問題の解答時間が十分だったと答えた児童の割合が、やや低かった。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○基本的な整数や分数の四則計算、数の相対的な大きさを捉えてその関係を表している図を選択する問題の正答率は、全国平均を上回っている。 ●示された情報を解釈し、基準量的小数倍の長さを表している図を選択することに課題がある。	・問題の場面から、基準量と比較量を捉え、図に表したり、図から読み取ったりする練習を多く行い、数量の関係を的確に捉えることができるよう指導する。その際、具体的な場面を数直線などに表現する活動を充実させる。
量と測定	○棒グラフを最大値に着目して表すこと、必要な情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断することの正答率は、全国平均を上回っている。 ●全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択すること、示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題がある。	・目的に応じて、適切な表やグラフを選択し、表したり読み取ったり判断したりする活動を、十分に行う。その際、何を読み取ることができるかについて確認し、表やグラフがもつ特徴を捉えられるように指導する。 ・条件に合う時刻や時間を、図の中に整理して表し、解決の筋道を立てられるように指導する。その際、図と式を関連付けて考えさせ、時間の増減を実感できる
図形	○五角形の性質を使って、1辺の長さともわりの長さの関係を表す問題の正答率は、全国平均を上回っている。 ●全体的に他領域より正答率の低さが目立つ。作図をする際に用いられる平行四辺形の性質を判断すること、立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係についての理解に課題がある。	・平行四辺形の作図において、コンパスで等しい長さを写し取ることが平行四辺形の性質につながることに気付かせるなど、作図の操作と図形の性質を関連付ける活動を工夫する。 ・立体図形を見取図や展開図と関連付けて考えさせ、辺や面の位置関係や立体図形の構成要素について理解を深められるよう指導する。
数量関係	○OAの平均正答率は、全国平均を上回っている。減法と乗法の混合した整数の計算をしたり、その意味を考えて具体的な場面を選択したりする力が身に付いている。 ●示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を言葉や式で表すことに課題がある。	・答えを求めるまでに複数の段階がある問題を、多く取り入れる。求めることや解決に用いる情報を整理し、解決の見通しを立てることができるように指導する。